

ポイント

Trends & Forecast

昨年からの半導体ブームは、18年第1四半期でも続行、今年の前半まで続きそう。ブームをもたらしたメモリは価格の上昇、それに伴う市場の成長などの面ではピークは昨年第3四半期で、その後の成長は鈍化、今年の後半には通常の推移になりそう。メモリ以外は、目立った動きはみられず、今年も昨年に続きメモリの成長が半導体市場全体の伸びを左右しそうだ。

Trade & Asian Dynamics

半導体ブーム下で中国、アジア/太平洋に加えて北米の成長が加速している。スマートフォンや関連半導体、とくにメモリの取引が増大、これらの地域の市場拡大に奏功している。残るは、日本と欧州だが、追隨して成長、しかし伸びは控え目。

Company & Competitiveness

世界主要半導体企業38社の17年第4四半期業績は、総計で売上が前四半期比6.8%増、前年同期比26.4%増と大きく伸びた。利益は同じ比較で11.0%減、53.6%増で、昨年末に行われた米税制改革によって当期に特別償却を計上した米企業が多く、それらの要因を除けば、売上と同様に好調な結果だった。

Market & End user

世界経済は比較的堅調で、半導体の需要先もスマートフォンやデータセンター向けなどから自動車、産業用機械など多様化している。従って半導体の需要もここ当面は好調な推移が見込まれる。

Conclusion

今年の焦点は、昨年の成長(前年比21.6%増)には達しないと思われる半面、全体で二桁成長が達成されるか否か、となりそう。近年で二年連続で二桁成長がみられたのは2003年-04年で、それぞれ18.3%および28.0%だった。本誌は、本号の発行時点で9.1%増を予測、二桁は無理とみているが、引き続き注目していきたい。

主な内容

- ・ NANDとDRAM世界出荷の増減推移 実績と予測
- ・ 世界の主要半導体企業38社/ファウンドリ3社、17年第4四半期業績集計(売上/利益額/利益率/売上伸び率それぞれ上位25社)
- ・ 世界主要半導体/ファウンドリ企業の売上、利益の長期傾向
- ・ 半導体の需要分野の国内生産推移と18年予想
- ・ 予測結果

3ページ目に予測の主要指標、最終ページに定義を掲載しております

文字の色が赤い部分をクリックして右クリックしてリンクを開くと対応したページに移動します

SRL Quarterly Forecast

予測手法について

予測は、10年間あるいは20年間のデータベースを基本にした長期傾向、季節変動に代表される短期傾向、それからいくつかの先行指標を用いた方法を混在させて行っております。この方法は半導体産業の規模が大きくなり、かつ信頼される統計その他の情報の蓄積が進むほど予測精度は高まります。ただし、既存の傾向に含まれない突発的な出来事(戦争、地震等)が発生した場合を除きます。傾向と先行指標から判断する方法は、もう一方の代表的な予測方法であります市場関係者への聞き取りやアンケート集計と異なり、人為的にもたらされる過剰な期待やその逆の過度な弱さを排除できる特徴があります。本誌では、図を多様して予測説明を行っておりますので、傾向や転換点が容易に理解できます。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を半導体総合研究所の解釈と分析で表現したものです。
2018年 著作権所有 SRL (半導体総合研究所)

定義と説明

- 1) 国内統計: 生産は経済産業省機械統計で、最新値は速報値。輸出、輸入は財務省通関統計を使用。生産は社内使用や自社目的のみに生産された分を含む。輸出はFOB(輸出港渡し条件)、輸入はCIF(運賃保険料込着港渡し条件)、非実装品は輸出、輸入に含まず、「非実装輸出」で別個に扱う。
図中、「消費は調整前」とあるのは、推定消費: 生産-輸出+輸入で計算。この計算式では在庫の増減で消費される時期が前後するが、調整前の場合は、上記計算を適用。
- 2) 国際統計: 世界半導体市場統計(WSTS=World Semiconductor Trade Statistics), 米半導体工業会(Semiconductor Industry Association)
韓国税関サービス(Korea Customs Service), 台湾(Taiwan Directorate General of Customs), 中国税関(China Customs), 香港政府統計處(Hong Kong Census and Statistics Department)など。関税分類の個別半導体およびオプト製品(8541-XX-XXX)、集積回路(8542-XX-XXX)で定義された全ての半導体の貿易額を使用している。これらのなかには処理済ウエハーや部分品も含まれ、要するに半導体全体である(本誌の半導体貿易は原則完成品を対象とし、それ以外の場合は定義をその都度説明している)。
- 3) 企業情報: 原則として企業が外部に公表した決算資料の数字を利用している。日系企業では、営業利益を公開しない例もあるが、その場合は本誌の推定値を使用している

2018年3月 (年4回発行) 第27巻1号 (通巻105号)
発行元 /株式会社SRL
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-1-35
TEL 042(439)5317 042(439) 5023
編集・発行人: 大竹 修

SRL Quarterly Forecast March 2018, No. 105
Semicon Research Ltd. www.semiconresearch.co.jp info@semiconresearch.co.jp
3-1-35 Shibakubocho Nishitokyo-City,
Tokyo 188-0014 Japan
Publisher/Editor : Osamu Ohtake

© SRL 2018

購読料金1年分(4号) 60,000円(税別)